

平成27年3月2日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

再生可能エネルギーファンド設定に向けた取り組みについて

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 若林 辰雄）は、下記の通り、将来的な機関投資家向け再生可能エネルギーファンドの設定を目指し、再生可能エネルギー関連資産への投資を目的とした合同会社ジーアイアイ（以下、「G I I」という。）への匿名組合出資を実施することと致しました。

G I Iは、この匿名組合出資を原資に、第1号投資先として、ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長 平野 敦彦）が宮崎県で開発した2MW規模の太陽光発電サイトを当社の不動産信託（サイトの管理運営機能の一部を担うもの）を活用した信託受益権の形態にて取得する予定です。

また、G I Iは、AMPキャピタル・インベスターズの日本法人から投資助言を受ける予定です。AMPキャピタル・インベスターズは、再生可能エネルギーを含むエネルギーセクターなど、グローバルの幅広い分野において25年超のインフラ投資実績を持つ資産運用会社です。

記

1. 出資の目的

三菱UFJ信託銀行株式会社は、将来的にインフラアセットマネジメント業務に参入し、年金基金等機関投資家の安定運用ニーズに合った再生可能エネルギーファンドの設定を目指すため、投資実績を積み上げてまいります。

さらに今後、空港や道路等の公共インフラ分野に対する取り組みも検討してまいります。

2. 出資の背景

- (1) 日本再興戦略において、クリーンなエネルギー需給実現の一環として、再生可能エネルギーの導入促進が謳われており、当該分野へ長期安定資金を供給し、その導入を支援することは社会的にも有意義であると考えられること。
- (2) 再生可能エネルギー事業者においては、開発済み案件や開発予定案件について、外部資金調達による資金効率化ニーズが高まってきたこと。
- (3) 再生可能エネルギー投資による安定したキャッシュフローが、当社の顧客基盤である年金基金等の機関投資家における長期安定運用ニーズに合致していること。

3. 再生可能エネルギー投資合同会社の概要

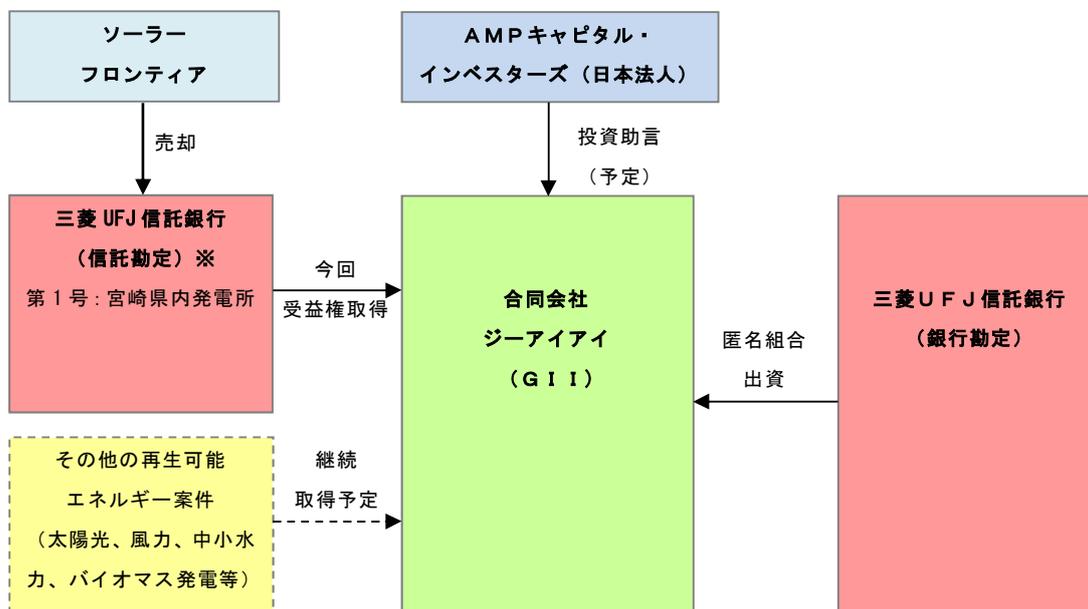
合同会社の名称	ジーアイアイ
合同会社への匿名組合出資者	三菱UFJ信託銀行株式会社（100%）
合同会社の投資対象	国内の太陽光発電、風力発電、中小水力発電、バイオマス発電等の再生可能エネルギー案件

以上

ご注意：この文章は、再生可能エネルギー投資合同会社への弊社の出資に関して、一般に公表するための発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

(ご参考)

【合同会社の投資スキームの概要】



※第一号案件では、当社が長年培ってきた不動産管理のノウハウを活用し、太陽光発電サイトを不動産信託として受託します。

【AMP Capital Holdings の概要】

※AMPキャピタル・インベスターズは、AMP Capital Holdings 傘下の資産運用会社です。

名称	AMP Capital Holdings Limited
業務内容	資産運用業務
株主	AMP Holdings Limited 85% 三菱UFJ信託銀行株式会社 15% (平成23年12月に資本提携および業務提携を開始)
所在地	豪州 シドニー
代表者	Stephen Dunne
従業員数	933名
拠点	豪州、ニュージーランド、日本、中国、インド、香港、シンガポール、ロンドン、ニューヨーク、バーレーン
資産運用残高	約15兆円 (平成26年12月末時点) うち、インフラストラクチャー運用残高 約7,400億円

以上